



「NPOバンクとの協調融資」と「埼玉ソーシャルビジネスサポートネットワーク」 ～ 日本政策金融公庫の取組 ～

□ 取組を始めるに至った経緯など

日本政策金融公庫（以下、「日本公庫」）は、中小企業・小規模事業者に対する事業資金融資等を行う政策金融機関であり、非営利団体も融資対象としていることから、NPO 法人に対しても 1998 年の特定非営利活動促進法成立以後、資金調達を中心に支援を実施。

このような従来の取組に加え、NPO 等への総合的支援の必要性から、各支店が独自に様々な機関と連携した取組を行うこととなった。

1. NPO バンクとの協調融資

□ 連携のきっかけ

日本公庫のセミナーに NPO バンクであるコミュニティ・ユース・バンク momo（以下「momo」）の代表がパネリストとして登壇したことが連携の契機。その後、日本公庫と momo 双方の融資制度や審査の着眼点についての勉強会を行うなどを通じて、お互いの理解を深めていき、信頼関係を構築。

□ 内容

日本公庫は momo と協調してソーシャルビジネス（以下、「SB」）を行う事業者に融資を実行。

森林の健全な育成のために伐採された間伐材を原料とした割り箸製造とともに、その際に発生するオガクズを堆肥の原料として利用することで、自然のものを全て活用し、廃棄物を発生させないゼロエミッション型の事業を展開していく、岐阜県内のある法人の取組に対し、割り箸と堆肥の製造に必要な設備資金を協調して支援。日本公庫が 300 万円、momo が 200 万円の合計 500 万円を融資。

□ 特徴

- ・融資金額や返済期間など momo の融資制度では条件面等で対応できない部分を、日本公庫が補完することで、融資先の希望通りの支援が行えた。
- ・融資先にとっては、単独金融機関の融資取引よりも開業期や成長期に資金調達する際の選択肢が広がり、経営の安定化が見込まれる。
- ・協調融資により、融資先は両融資元の機能を活用でき、単独金融機関での融資取引よりもビジネスチャンスの拡大が見込まれる。
- ・具体的には、日本公庫との融資取引により、取引先とのマッチングを行う日本公庫のビジネスマッチング機能を活用できるようになり、取引先の新規開拓が見込まれる。さらに、momo との融資取引により、momo によるネットワークを活かした情報発信と、momo の持つ出資者と融資先との対話の場が活用でき、融資先の事業の共感を集めることで寄附金の増加も見込まれる。
- ・日本公庫が NPO バンクと協調融資を実施する初めての事例。今後も NPO バンクとの協調融資を推進していきたいとのこと。

日本公庫の全国の NPO 法人向け融資実績(2013 年度)

740 件 約 58 億円

協調融資のメリットについて momo 木村真樹代表理事のコメント

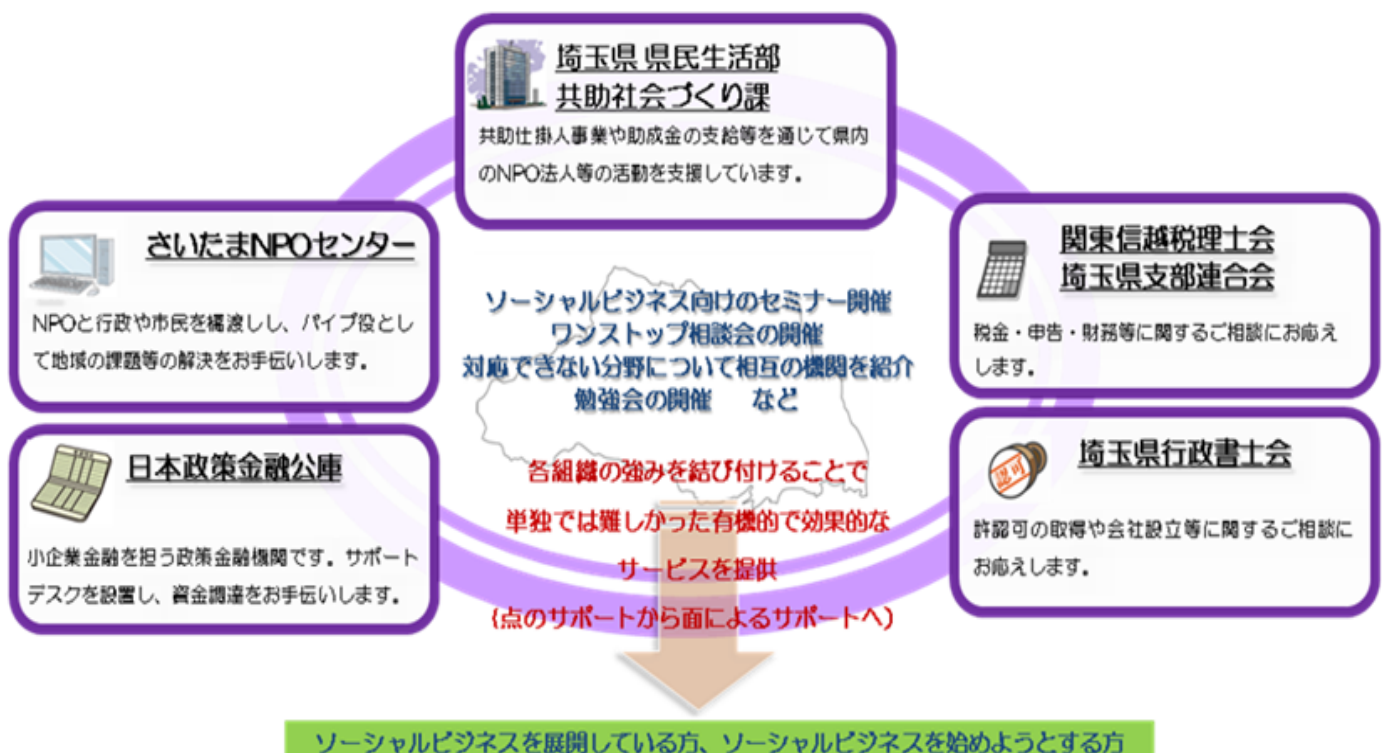
- ・岐阜県にも支店を持つ日本公庫と連携する事で、相談者に対し単独の支援より充実した支援が可能となった。
- ・協調により事前に相談者の事を把握してもらえたので、スムーズに全体の資金調達プランが立てられた。

2. 埼玉ソーシャルビジネスサポートネットワーク

内容

日本公庫は、埼玉県、関東信越税理士会埼玉県支部連合会、埼玉県行政書士会、NPO 法人さいたま NPO センターと連携し、2014 年 8 月 1 日に「埼玉ソーシャルビジネスサポートネットワーク」を立上げ。日本公庫の具体的な取組としては、SB 事業者に対する相談窓口である「ソーシャルビジネスサポートデスク」の設置をはじめ、相談者に対する連携機関の紹介や、SB 向けセミナー、ワンストップ相談会の開催、支援機関同士の勉強会を実施。

【ネットワーク図】





特徴

- ・ネットワーク先の対応可能な分野や連絡窓口を一覧表にすることで、従来日本公庫単独では対応が難しかった相談に対しても、ネットワーク全体で対応できる体制が構築。
- ・各機関の強みを活かしながら連携した対応ができるため、これまで以上に効果的かつタイムリーで迅速なサービスの提供が可能。
- ・ネットワークの利便性向上のため、埼玉県の NPO 法人向けホームページ上にネットワークに関する情報コーナーを設置し、セミナー等各種イベント情報を発信。

日本政策金融公庫

所在地（本店） 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー
URL <http://www.jfc.go.jp/>

コミュニティ・ユース・バンク momo

設立年 2005 年 10 月
代表理事 木村 真樹
所在地 愛知県名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル 5 階 5-D 号室
URL <http://momobank.net>